平成27年

栃木県実施要綱

秋の交通安全県民総ぐるみ運動

期間　9月21日(月)から9月30日(水)までの10日間

交通安全スローガン

マナーアップ！あなたが主役です

平成二十六年度交通事故防止に関するポスター優秀作品　佐野東高等学校　大川　凜　さん

運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止

全国重点

1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）
2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
3 飲酒運転の根絶

栃木県重点

「スピードダウン運動」の推進

9月18日(金)	「交通安全の火」分火式(県庁県民広場)
9月21日(月)	運動周知日
9月25日(金)	飲酒運転根絶強化の日 自転車安全利用推進強化の日
9月29日(火)	シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日
9月30日(水)	交通事故死ゼロを目指す日(全国統一) スピードダウン運動推進強化の日

主唱　栃木県・栃木県交通安全対策協議会

「運動の目的」

本運動は、広く県民一人ひとりに交通安全意識の浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けて交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

「運動の基本」

「子供と高齢者の交通事故防止」

- 登下校時間帯の通学路で、児童・生徒に交通安全指導と保護・誘導活動を行いましょう。
- 子供や高齢者が交通ルール等を学び、安全な行動ができるように参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しましょう。
- 子供や高齢者を交通事故から守る意識を高めるように、地域や職場ぐるみで積極的に交通安全活動を推進しましょう。
- 子供とその保護者、そして高齢者は、交通安全教室等に積極的に参加して、交通ルールやマナーを学び、安全な行動を身につけましょう。

「運動の重点」

①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）

歩行者は

- ■夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい色の服装と反射材用品等の活用を心掛けましょう。
- ■自分の姿を早くドライバーに気付いてもらうため、反射材等で自分の存在をアピールしましょう。

夜間、ドライバーが歩行者に気づく距離

反射板を付ける	明るい服装	黒っぽい服装
約57m	約36m	約26m

※警察庁資料より

自転車利用者は

- ■反射材を取り付けた安全で乗りなれた自転車を利用し、夕暮れ時はライトを早めに点灯するよう努めましょう。
- ■飲酒運転、二人乗り、並進だけでなく、携帯電話やイヤホン等使用の危険性を認識し、交差点等での信号遵守、一時停止、安全確認を徹底しましょう。
- ■子供が自転車に乗るときはヘルメットを着用させるよう努めましょう。
- ■車道の左側通行等自転車の通行方法を遵守し、歩道通行時における歩行者優先を徹底しましょう。

平成27年6月1日
改正道路交通法施行

自転車運転中に信号無視等、特定の「**危険行為**」を3年以内に**2回以上繰り返す**と、「**自転車運転者講習**」の受講が命じられます。
命令を受けてから3ヶ月以内に受講しないと
5万円以下の罰金!!

平成27年9月1日
改正県道路交通法施行細則施行

自転車運転中に**携帯電話やイヤホン等を使用すること**が「禁止行為」と規定されます。
違反すると
5万円以下の罰金!!

運転者は

- ■夕暮れ時は早めにライトを点灯し、交通事故防止に努めましょう。
- ■夜間、対向車等が無いときは、こまめにライトを上向きに切り替え、歩行者や自転車の早期発見に努めましょう。

ヘッドライト

②後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

■シートベルトやチャイルドシートは、もしものときの命綱です。後部座席を含めた全ての座席でのシートベルト等の着用を徹底しましょう。

■研修会、講習会、会議等を通じて、着用効果事例の紹介等によりシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性と着用効果について啓発し、地域ぐるみで着用の徹底を図りましょう。

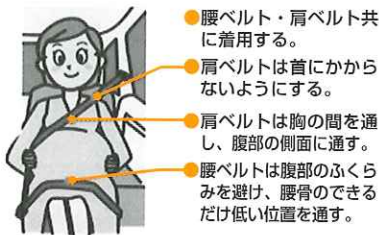
シートベルトの正しい着用方法

シートベルトは正しく着用すると交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減できます。

- シートの背は倒さずに、シートに深く腰掛ける。
- 体を斜めにせず正しい姿勢をとる。
- 肩ベルト（三点式ベルトの場合）は、首にかからないようにする、また、肩ベルトがたるまないようにする。
- ベルトがねじれないようにする。
- バックルの金具は確実に差し込むようにする。
- 腰ベルトは骨盤を巻くように、しっかり締める。

妊娠中のシートベルト着用方法

シートベルトを正しく着用することにより、交通事故の被害から母体や胎児を守ることができます。ただし、健康保持上、シートベルトの着用が適当かどうかを医師に確認しましょう。

- 腰ベルト・肩ベルト共に着用する。
- 肩ベルトは首にかからないようにする。
- 肩ベルトは胸の間を通し、腹部の側面に通す。
- 腰ベルトは腹部のふくらみを避け、腰骨のできるだけ低い位置を通す。

チャイルドシートの着用方法

6歳未満の子供を車に乗せる場合は、必ずチャイルドシートを取扱説明書などに従って、正しく使用しましょう。事故の被害を軽減するほか、子供が運転操作を妨げることを防止できます。

- 子供の体格に合うものを使用する。
- なるべく後部座席で使用する。（助手席エアバッグ装備の場合）
- 座席に確実に固定する。

※やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定する。

③ 飲酒運転の根絶

運転者は

■「少しだから」との安易な気持ちを捨て、飲酒運転の悪質さや危険性を認識しましょう。

■飲酒した翌日でもアルコールの影響があることを認識し、飲酒量や飲酒時間に注意しましょう。

家庭では

■飲酒運転による事故の悲惨さと責任の重さを話し合い、家族ぐるみで飲酒運転を根絶しましょう。

職場や地域等では

■自動車運送事業者などは、出発前に対面点呼による呼気確認やアルコール検知器によるチェックを徹底しましょう。

■あらゆる機会を通じて飲酒運転の悪質性や危険性を呼びかけ、絶対に飲酒運転を許さない環境づくりを促進しましょう。

■酒酔い運転

無条件で
35点 免許取消し
5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

■酒気帯び運転

呼気中のアルコール濃度 0.25mg/ℓ以上
25点 免許取消し

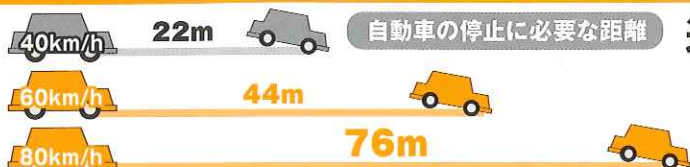
呼気中のアルコール濃度 0.15mg/ℓ以上、0.25mg/ℓ未満
13点 免許停止

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

自動車などを利用して家族や仲間と飲酒するときは、ハンドルキーパー（飲酒しないで運転し送り届ける人）を決めましょう。飲食店等は、ハンドルキーパーには酒類の提供を止めましょう。

飲酒運転根絶

スピードダウン運動の推進

いつもより　5キロは減速　安全運転

速度が1．5倍になると
停止に必要な距離は約2倍！
2倍になると約3．5倍に！

スピードの出しすぎは・・・

- 危険の発見が遅れる
- 車の制御が困難になる
- 衝突時の衝撃が大きくなる

など、重大事故の原因となります。道路状況に応じた安全速度で走行しましょう。

交通事故防止のポイント	①道路の状況に合わせてスピードを落としましょう。 ②時間と心にゆとりを持った運転を心掛けましょう。 ③住宅街や通学路などでは特にスピードを控えましょう。

栃木県では「子どもや高齢者に優しい3S（スリーエス）運動」を推進しています。

SEE（発見する）

夕暮れから夜間にかけて、歩行者や自転車の発見が遅れがちです。　夜間は、速度を1～2割落として走行し、前を良く見て早めに発見しましょう。

夜間のライトは上向き（走行用）前照灯が基本です。上向きと下向きをこまめに切り替えましょう。

SLOW（減速する）

歩道や道路端を歩いたり、自転車に乗っている子供や高齢者を見かけたら、必ず減速し、その動きには細心の注意を払いましょう。

STOP（停止する）

道路で立ち止まったり、横断中の子供や高齢者を見かけたら、ためらわずに停止しましょう。

あなたは「歩行者優先」を守っていますか？横断歩道では止まってください！

横断歩道に近づいたら・・・

横断しようとする人がいないか確認！

横断しようとする人や横断中の人がいたら・・・

停止して歩行者を通行させる！

横断歩道で横断しようとする人や、横断中の人がいるのに停止しなかったり、横断を妨害した場合、「**横断歩行者等妨害等違反**」として検挙の対象になります。

点数	2点	反則金	大型12,000円　普通9,000円 二輪　7,000円　原付6,000円

○交通安全ビデオ（VHS・DVD）の貸出し

交通安全教育に役立てていただくために、交通安全ビデオ（VHS・DVD）の貸出しを行っています。ビデオ一覧は、県ホームページをご覧ください。

事務局 栃木県県民生活部くらし安全安心課（栃木県のホームページ　http://www.pref.tochigi.lg.jp）

〒320-8501　宇都宮市塙田1丁目1番20号　TEL 028-623-2185　FAX 028-623-2182